

令和3年度

専攻科学生募集要項

(推薦選抜)

独立行政法人国立高等専門学校機構

明石工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Akashi College

〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3

電話 (078) 946 - 6149

FAX (078) 946 - 6053

ホームページ <http://www.akashi.ac.jp/>

目 次

学生募集要項（推薦選抜）

I	アドミッション・ポリシー	1
II	ディプロマ・ポリシー	1
III	カリキュラム・ポリシー	1
IV	募集人員	2
V	選抜の方法	2
VI	選抜の日程	2
VII	推薦選抜	2
1	出願資格	2
2	出願手続	2
3	選抜方法	3
4	合格発表	4
5	入学確約書の提出	4
6	入学手続	4
7	「推薦選抜」の結果、合格とならなかった場合の取り扱い	4
8	その他の注意事項	4
VIII	入学者選抜における個人情報の取り扱い	5
IX	入学試験成績の開示	5
X	入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点	6
XI	学士の学位の取得について	6

学 生 募 集 要 項 (推 薦 選 抜)

I アドミッション・ポリシー

自由な校風のなかで夢を育み、将来を自ら切り拓いていこうとする意志を持った次のような学生の入学を期待しています。

1. 技術者として活躍したいと強く希望を持っている人
2. 総合的な基礎学力および専門分野の基礎能力を身に付けている人
3. 自己の専門分野以外にも学習する意欲があり、自然や社会との共生に関心のある人

選抜方針は以下のとおりです。

・推薦選抜：学校長推薦

高等専門学校を卒業（見込み含む）した者で、学業・人物とも優秀であることにより出身の高等専門学校長の推薦を受け、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、当該専攻への関心が明白・適切であり、自己の専門分野以外にも学習する意欲を持ち、自然や社会との共生に関心のある人を選抜します。

・推薦選抜：社会人特別推薦

高等専門学校を卒業し、企業等に在職する者で、勤務成績・人物ともに優秀であることにより所属企業等の長の推薦を受け、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、当該専攻への関心が明白・適切であり、自己の専門分野以外にも学習する意欲を持ち、自然や社会との共生に関心のある人を選抜します。

・学力選抜

高等専門学校等を卒業（見込み含む）した者で、本校での修学に必要な総合的な学力を有し、当該専攻への関心が明白・適切であり、特に数学、英語、当該専攻の専門科目が得意である人を選抜します。

II ディプロマ・ポリシー

次に示すような素養を身につけ、学則に定める基準を満たした学生に修了を認定します。

1. 自然・文化・社会について広く理解し、複数の専門分野に対する基礎知識を修得している。
2. 工学的な様々な問題に対して、専門的スキルや汎用的スキルを用いて自ら目標を設定し、それらを解決することができる。
3. 協働の中で個人の能力を発揮し、継続的に学習し、技術者としての倫理と責任を持って主体的・能動的に行動できる。
4. 多様化する社会を俯瞰的に把握し、創造的に思考できる。

III カリキュラム・ポリシー

一般教養科目、専門共通科目および専門展開科目を体系的に配置したカリキュラムにより、基礎知識・スキルの修得から創造力・問題解決能力の養成まで一貫した構想の下に教育を行います。

1. 自然・文化・社会に対する理解と専門分野の基礎知識を幅広く修得し、国際的に活躍できるように自然科学系科目、人文社会系科目および複数の工学分野の専門科目による系統的な学習の機会を提供する。
2. 問題解決のための幅広いスキルを修得できるよう、実験・実習やコミュニケーションに関する実践的な学習および学外における社会学習の機会を提供する。
3. 協働を通して主体的・能動的に社会に貢献する能力を身に付けられるよう、グループによる学習や継続的に課題に取り組む機会を提供する。
4. 社会の変化に対応できる創造力を身に付けられるよう、基礎的な知識・スキルを活用して主体的・能動的に取り組む総合的な学習の機会を提供する。
5. 学生が学習の各段階で自身の達成度を把握できるよう、成績評価は複合的に行うことを原則とし、その方法を記したシラバスを公開する。

IV 募集人員

機械・電子システム工学専攻 8人

建築・都市システム工学専攻 8人

V 選抜の方法

入学者の選抜は、「推薦選抜」と「学力選抜」の二つの方法で行います。

VI 選抜の日程

入学者の選抜は、次のとおり行います。

選 抜 区 分	選 抜 期 日	選 抜 人 数
推 薦 選 抜	書 類 選 抜	8 人 程 度
学 力 選 抜	令和2年9月23日(水)※	8 人 程 度

※学力選抜については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う情勢変化を踏まえ、日程を見直すことがあります。

VII 推薦選抜

1 出 願 資 格

(1) 学校長推薦

令和3年3月までに高等専門学校卒業見込みの者で、成績が優秀であり、かつ学校長が優れた人物と認め推薦する者

高等専門学校を卒業した者で、在学中の成績が優秀であり、かつ出身学校長が優れた人物と認め推薦する者

(2) 社会人特別推薦

高等専門学校を卒業し、企業等に在職する者で、所属企業等の長が勤務成績、人物ともに優れていると認め、在職のまま入学を推薦する者

2 出 願 手 続

(1) 願書受付

受付期間	令和2年6月17日(水)から6月23日(火)まで (ただし、6月20日(土)・6月21日(日)を除く。郵送の場合は、6月23日(火)必着とする。)
受付時間	9時から17時まで(ただし最終日は16時まで)
受付場所	明石工業高等専門学校 学生課 教務学生チーム(入試担当)

(2) 出願に必要な書類等

入学願書 (推薦用)	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
整理票 及び受験票 (推薦用)	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。 写真は、縦4cm×横3cm、正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したもの。
推薦書	(学校長推薦) 本校所定の用紙により出身学校長が作成したもの。 (社会人特別推薦) 本校所定の用紙により所属企業等の長が作成したもの。
調査書	本校所定の用紙により出身学校長が作成し厳封したもの。(高等学校から高等専門学校に編入学した者は、出身高等学校の調査書も添付すること。)
入学検定料	16,500円 本校所定の振込用紙により、出願者本人の名前で金融機関の窓口で振り込んでください。(ATMによる取扱はできません。) 「銀行振込受付証明書」を願書の裏面に貼付してください。ただし、郵便局(ゆうちょ銀行)をご利用の場合は本校所定の振込用紙を使用することができませんので、P6「X入学検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」をご参照ください。また、郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合は、「振込依頼書(兼振替払出請求書)[電信扱い](お客さま控)」を願書の裏面に貼らずにご提出ください。振込手数料は各自ご負担願います。
受験票 送付用封筒	本人のあて名(住所、氏名、郵便番号)を明記し、374円切手(速達料を含む)を貼った返信用封筒(長形3号)を同封すること。
あて名票	本校所定の用紙に合格通知を受ける住所、氏名、郵便番号を明記したもの。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 出願は、本校所定の出願書類により、受付期間に持参又は郵送すること。ただし、郵送する場合には必ず書留郵便とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書すること。
- ② 出願書類等の不備なものは受理しません。
- ③ 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学許可を取り消すことがあります。
- ④ 願書提出後の記載事項の変更は認めません。
- ⑤ 受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ⑥ 入学検定料の返還について

いったん納付された入学検定料については、本校に出願しなかった(又は出願が受理されなかった)場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

入学検定料を払い込んだが本校に出願しなかった(又は出願が受理されなかった)場合は、以下により入学検定料の返還を請求してください。

1. 下記連絡先に「入学検定料返還請求書」及び「銀行振込依頼書」(いずれも本校様式)を請求してください。
2. 本校から上記書類が届きましたら必要事項を記入し、必ず検定料の「振込金(兼手数料)受取書 **本人控**」(郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込んだ場合は「振込依頼書(兼振替払出請求書)[電信扱い](お客さま控)」を添付のうえ、下記連絡先へすみやかに郵送してください。

連絡先： 〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3
明石工業高等専門学校 総務課 会計チーム(財務担当)
TEL：078-946-6031

3 選 抜 方 法

入学者の選抜は、推薦書(出身学校長若しくは所属企業等の長から提出されたもの)、調査書により行います。(配点は調査書200点)

4 合格発表

令和2年7月7日（火）

受験者及び推薦者には、「選抜結果通知」を送付します。

参考のため12時ごろにホームページ <http://www.akashi.ac.jp/> に合格者の受験番号を掲載します。

なお、学内での掲示は行いません。また、電話等による可否の問い合わせには一切応じません。

5 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和2年7月15日（水）までに「入学確約書」を提出すること。郵送する場合は必ず簡易書留とし、7月15日（水）必着で送付してください。

「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学の意志がないものとして取り扱います。

6 入学手続

合格者に別途通知します。

7 「推薦選抜」の結果、合格とならなかった場合の取り扱い

「推薦選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力選抜」の受験を希望する者は、再度下記の書類等を整え所定の期間内に手続きを行うこと。

区 分	所 定 の 期 間（※）
学力選抜試験受験希望者	令和2年8月24日（月）から8月28日（金）まで （9時から17時まで。ただし最終日は16時まで） （郵送の場合は、8月28日（金）必着とする。）

※ 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う情勢変化を踏まえ、日程を見直すことがあります。

入学願書 （学力用）	本校所定の用紙に必要事項を記入したもの。
整理票 及び受験票 （学力用）	本校所定の用紙に必要事項を記入し、写真を所定の位置に貼ったもの。 写真は、縦4cm×横3cm、正面上半身脱帽で出願3か月以内に撮影したもの。
入学検定料	16,500円 本校所定の振込用紙により、出願者本人の名前で金融機関の窓口で振り込んでください。（ATMによる取扱はできません。）「銀行振込受付証明書」を願書の裏面に貼付してください。ただし、郵便局（ゆうちょ銀行）をご利用の場合は本校所定の振込用紙を使用することができませんので、P6「X入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」をご参照ください。また、郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書）〔電信扱い〕（お客さま控）」を願書の裏面に貼らずにご提出ください。振込手数料は各自ご負担願います。
受験票 送付用封筒	本人のあて名（住所、氏名、郵便番号）を明記し、374円切手（速達料を含む）を貼った返信用封筒（長形3号）を同封すること。

8 その他の注意事項

出願書類提出後、住所（郵便受取先）を変更した時は、直ちに本校学生課教務学生チーム（入試担当）に届け出ること。

Ⅷ 入学者選抜における個人情報の取り扱い

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料以外には利用しませんが、入学者については次の目的のためにも利用します。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅸ 入学試験成績の開示

開示を希望される場合は、下記宛にお問い合わせください。

＊問い合わせ先

明石工業高等専門学校 学生課 教務学生チーム（入試担当）

〒674-8501 明石市魚住町西岡679-3

TEL：078-946-6149

FAX：078-946-6053

X 入学検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

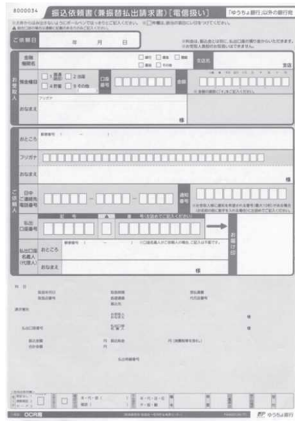
入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- (2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- (3) 振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書）〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領のうえ、出願の際にご提出ください（願書裏面への貼り付けはしないでください。）

【サンプル】

[振込の際にご使用いただく様式]

振込依頼書

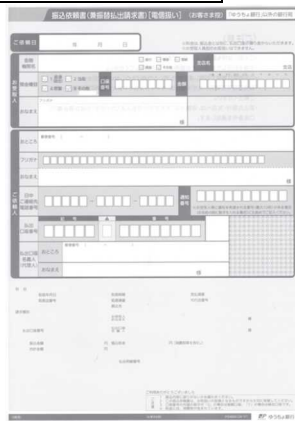


お振込先

金融機関名：三井住友銀行
支店名：加古川支店
預金種目：普通
口座番号：5619167
受取人：ドクリツギョウセイハウジン
コクリツコウトウセンモンガッコウ
キコウホンブ
独立行政法人
国立高等専門学校機構本部
振込金額：16,500円

[出願の際にご提出いただく様式]

振込依頼書（控）



ご依頼人

出願者本人の「おところ」「日中ご連絡先電話番号」「おなまえ」「フリガナ」をご記入ください。
また、「通知番号」（または「番号」）欄には出願する専攻に対応した次の数字を左詰でご記入ください。

- ・機械・電子システム工学専攻：12
- ・建築・都市システム工学専攻：34

XI 学士の学位の取得について

学士号を取得するためには、大学改革支援・学位授与機構に学位授与申請をする必要があります。本校専攻科は「学士の学位の授与に係る特例の適用認定」を受けていますが、他高専の入学者や社会人入学者の場合は、特例による申請が認められず通例の手続きによる学位取得となる場合があります。